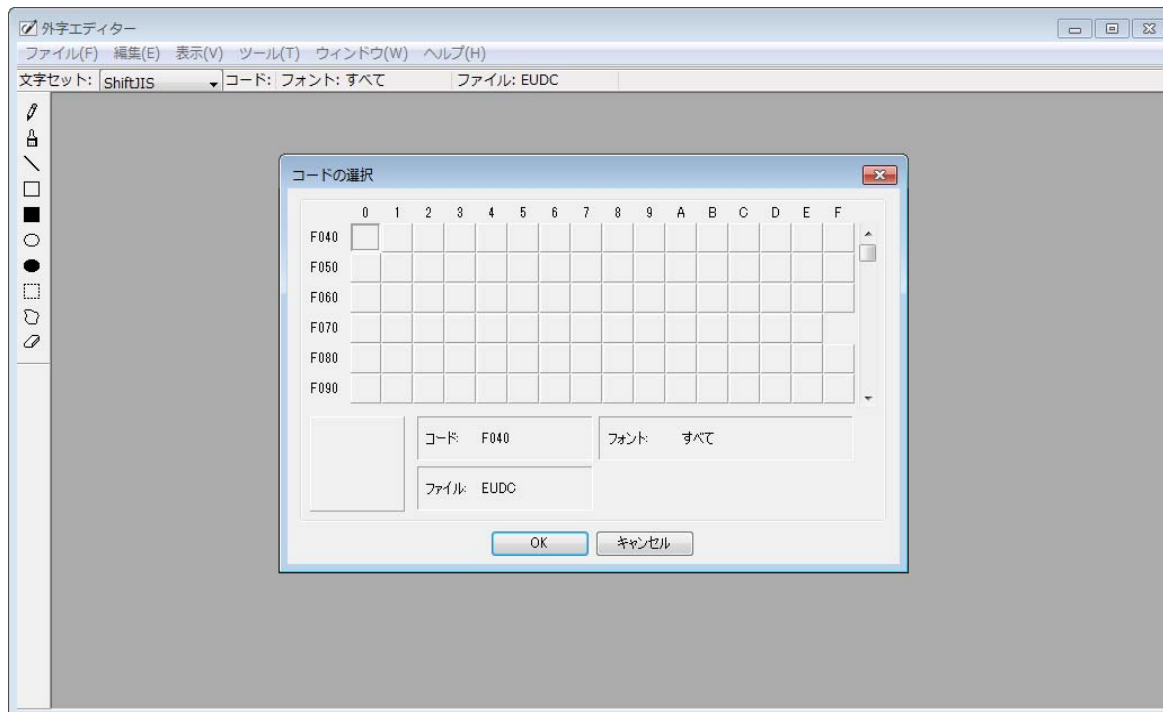


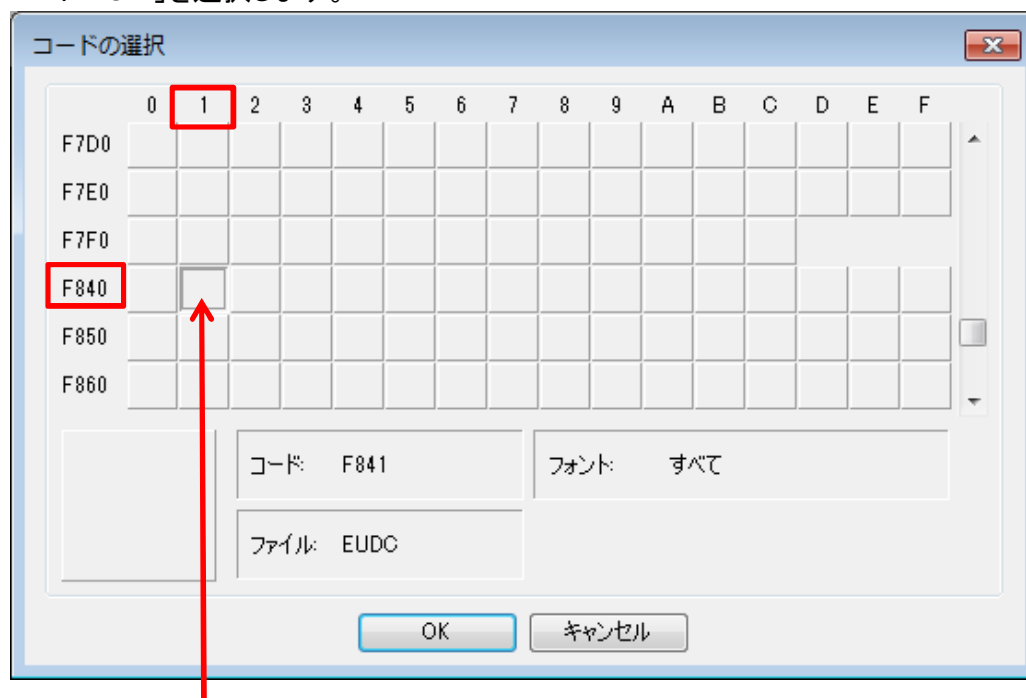
出来形アシストのエックスバーの表示手順

⌘ の文字を出来形アシストで使用する場合は以下の手順が必要です。

- ① windowsの外字エディターを起動します。
「スタート」から「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「外字エディター」を選択します。

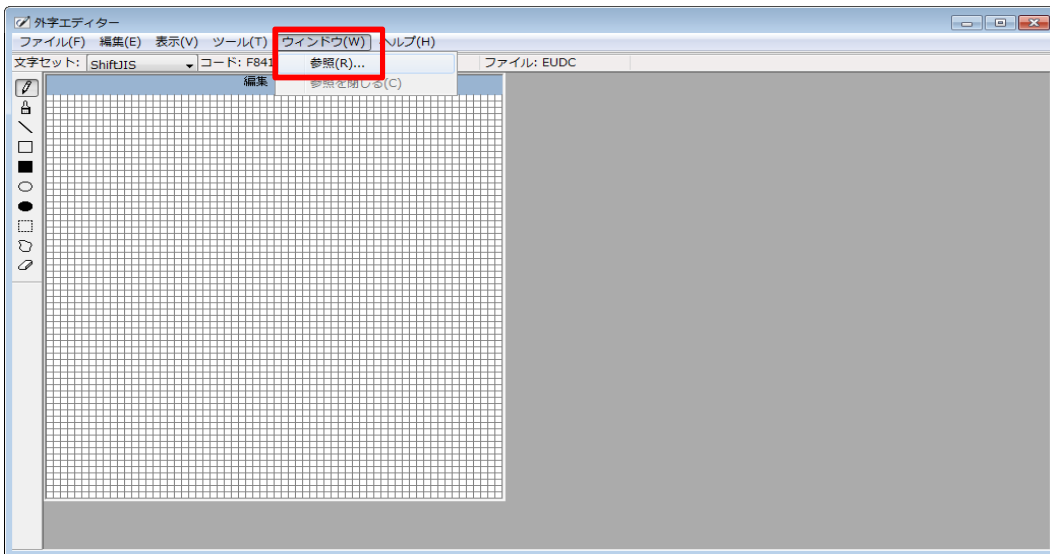


- ② コード「F841」を選択します。

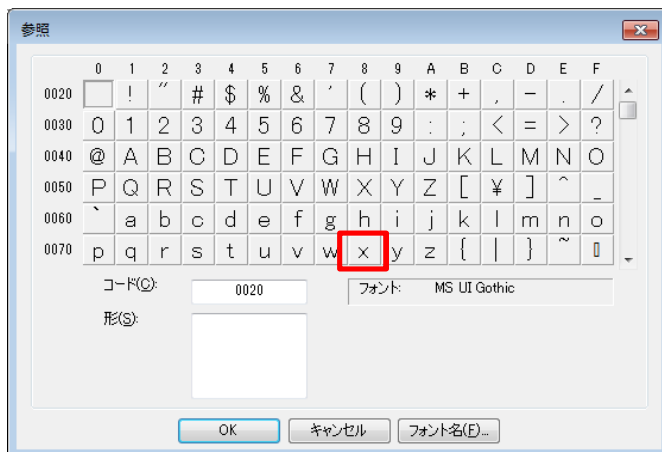


クリックをしてから「OK」ボタンを押します。

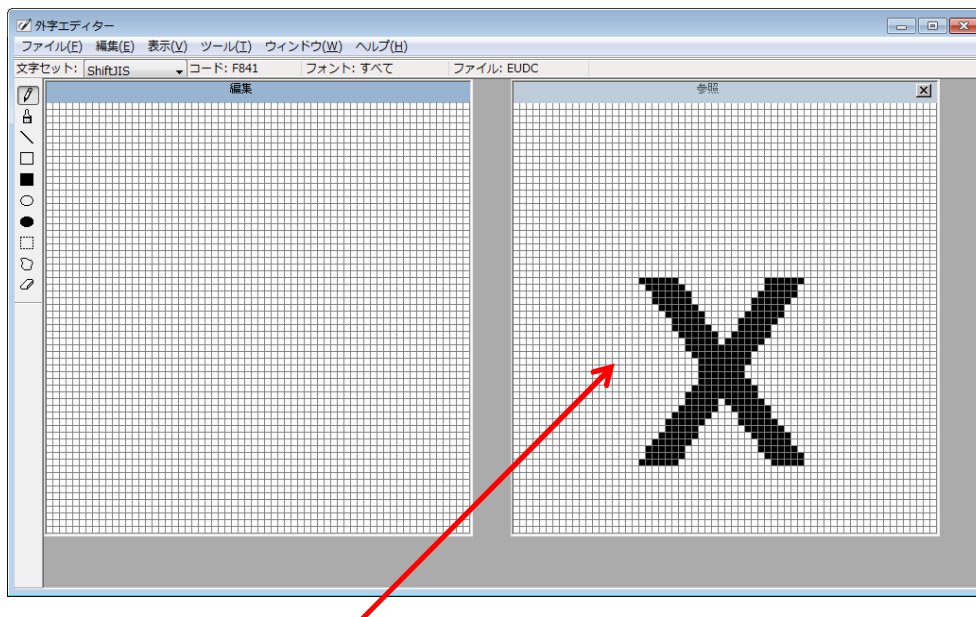
③ Xの文字を入れます。



上部の「ウィンドウ」から「参照」をクリックします。

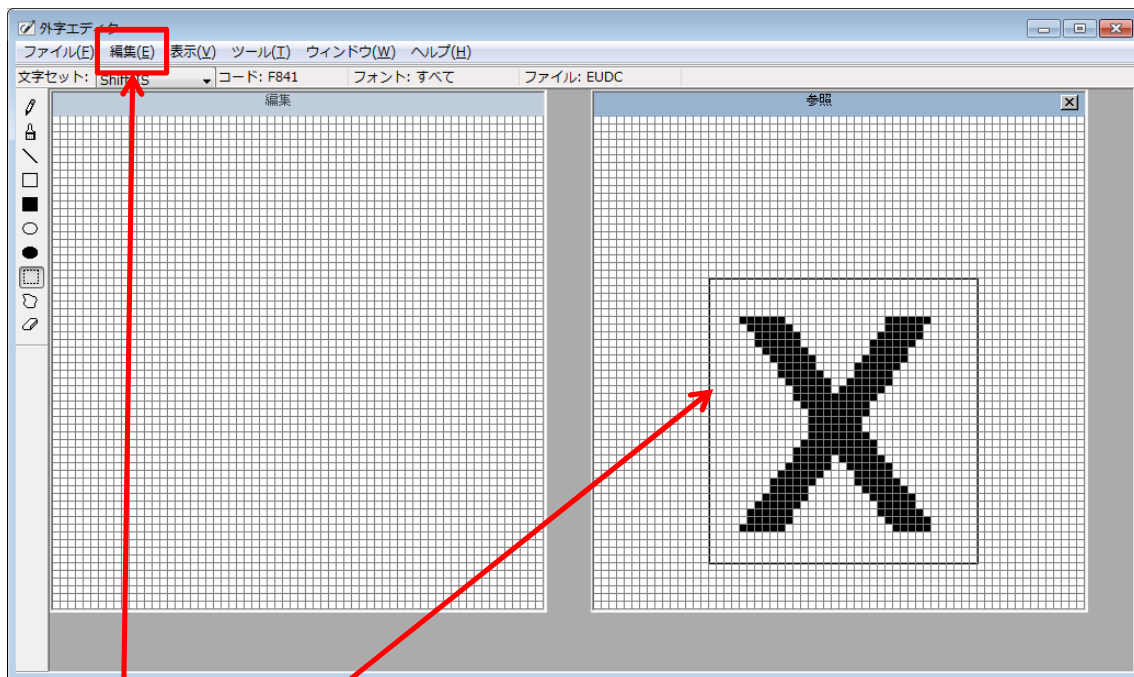


一覧から「x」を選択して「OK」をクリックします。



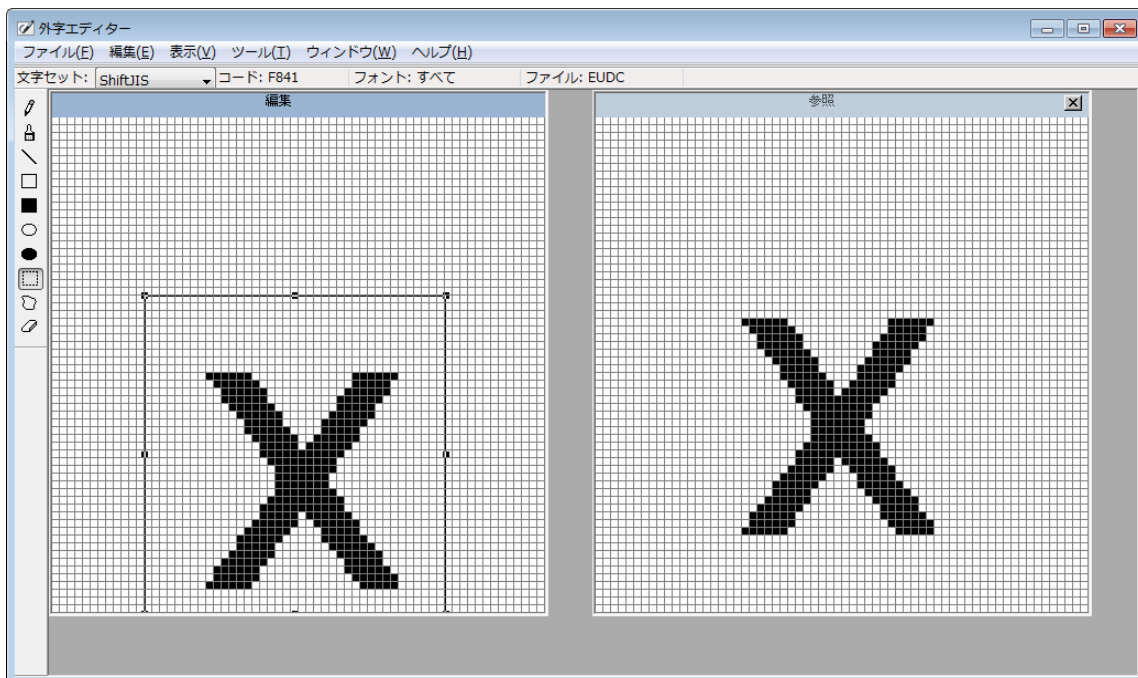
右の参照に「x」の文字が表示しているのを確認してください。

④ 文字を編集する



参照のXの文字を囲むようにドラッグして範囲指定してください。

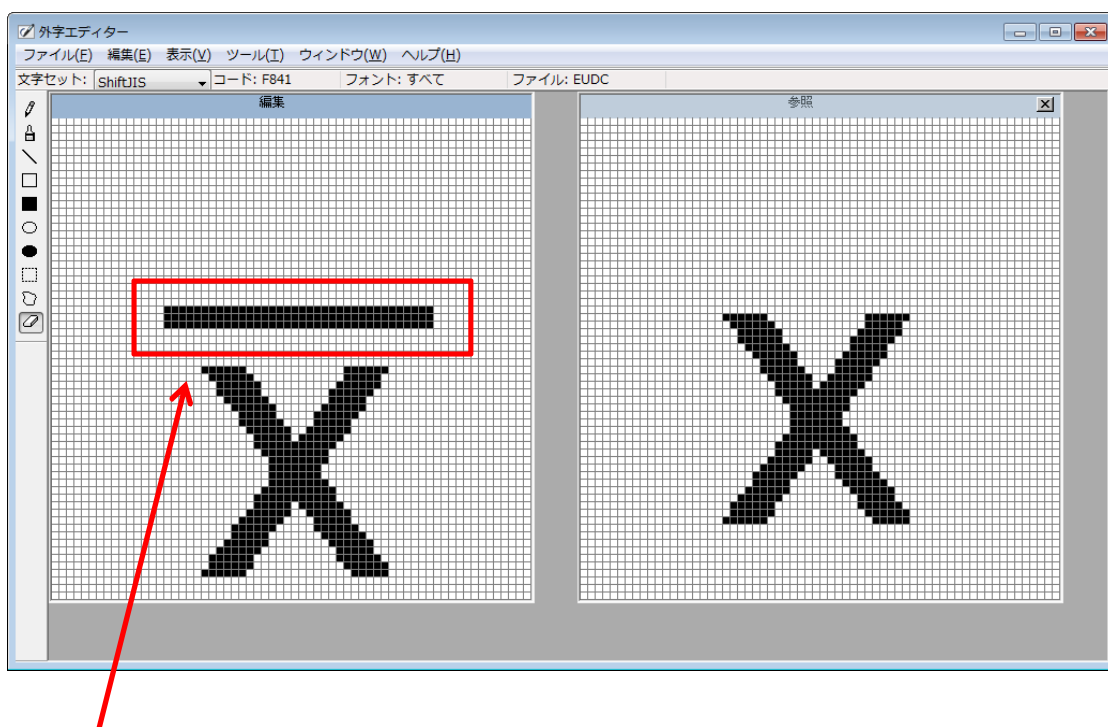
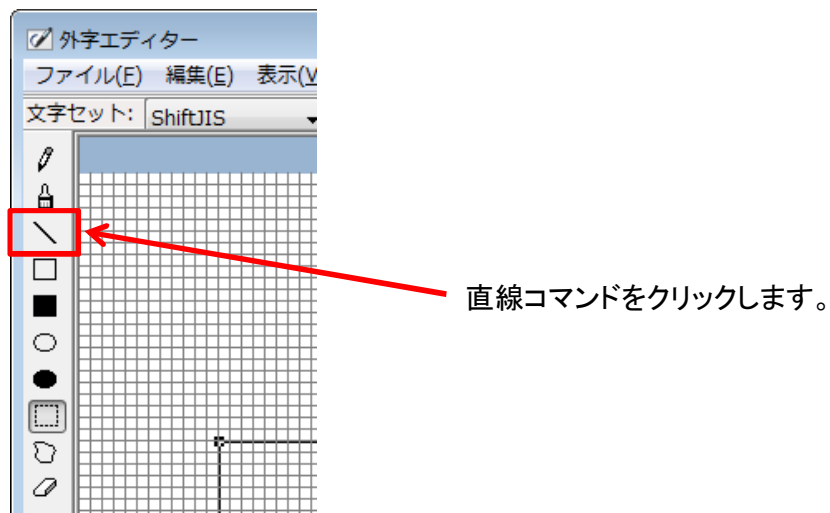
上部の「編集」から「コピー」をクリックしてください。



「コピー」をクリックした後に、同じく上部の「編集」から「貼り付け」をクリックしてください。
貼り付けをクリックすると、編集の画面にXの文字が表示します。

貼り付けたXの文字を下のほうへ移動させます。
移動はXの文字をドラッグします。

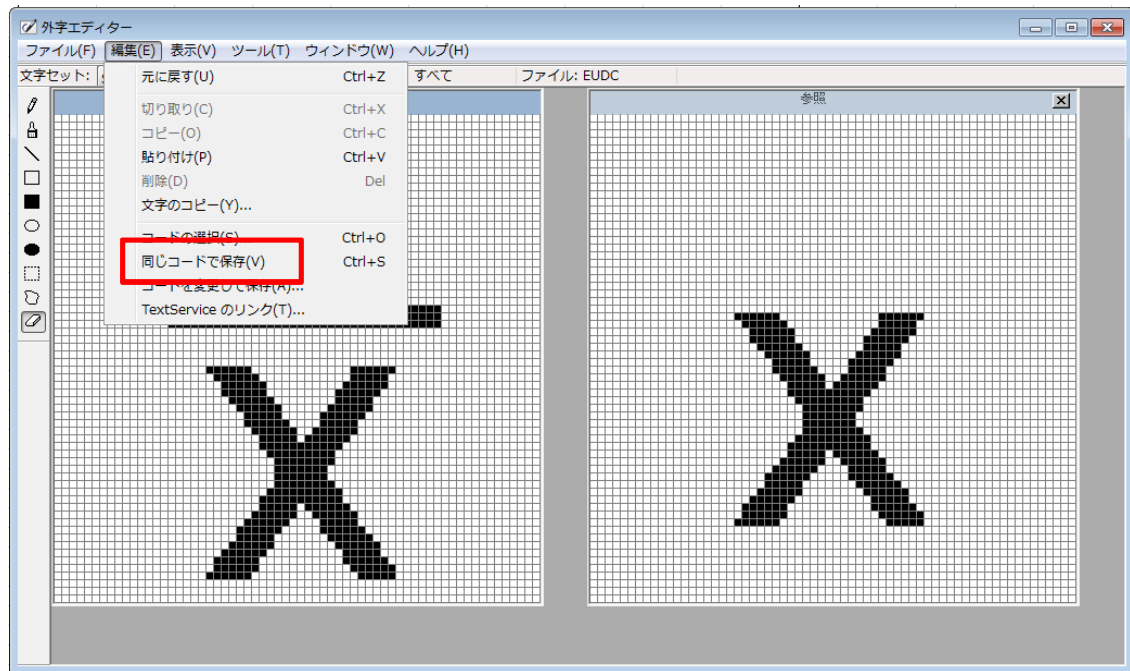
⑤ Xの上に線を引きます。



Xの文字の上部をドラッグして線を書き入れていきます。

もし、線を書き間違えた場合は左の「消しゴム」コマンドを使用して削除してください。

⑥ 外字の保存



上部の「編集」から「同じコードで保存」をクリックしてください。

以上で外字の作成・登録は完了です。

外字エディターを終了し、もう一度起動して コード「F841」に登録されているのを確認してください。

出来形アシストのヒストグラムに登録した外字が描画されるようになります。

御不明な点などがありましたら、ご連絡ください。